

平成 21 年 6 月 13 日  
月心会 西東京本部 浜田山支部  
畠山 翔大

## 「父母について」

僕は、父母の事を、何があっても守ってくれる味方だと思います。

理由は、子供のために働いてお金をかせいでいたり、家事をしたりしているからです。子供のためではなかったら、きっとこんなに忙しい思いをして、働いたり家事をしたりしていないと思います。でもこれ以上の事があってそれは、いじめがあっても子供を温かく迎えてくれる事です。僕は、いじめではないけど、孤独だった時の事を書きたいと思います。

僕が空手を始めて 9 ヶ月になって僕を空手にさそってくれた家族が引っ越しする事になってしまったのです。その時僕はびっくりしました。「せっかく僕たちを空手へさそったのに、これから僕はどうすれば…」と。

でもそこまで僕が決める事ではないので頑張れと言い、引っ越しをなんとか受け入れる事が出来ました。

しかし、その後は友達がいなくて孤独な練習の日々でした。でもその時助けてくれたのは父母でした。父は「友達がいなくても親は味方。」と話してくれました。そして父と弟と三人で練習していると、先輩が「一緒に友達になってみない。」を話してくれて父が「良かったな、これで一人ぼっちなどはないぞ。」と言ってくれました。そこからは楽しく元気でたくさん汗を流した練習の日々がありました。

そして先輩が黒帯をとった時に「おめでとう。」を言ったら「次はお前の番だぞ。」としゃべってくれました。

今になっても父母がいると自然と勇気が湧いてくるような感じがします。

僕はそんな父母になれる大人になりたいです。そして先輩のひとつの目標であった黒帯を僕の目標としていきました。先輩からもらった僕の目標を忘れずに最後まで黒帯をとりたいと思います。